

令和5年度事業計画

コミュニティ活動は、新型コロナウイルスの度重なる感染拡大により様々な制限を余儀なくされ、日々の活動においても細心の注意を払いながら継続してきたところですが、令和5年5月8日からは、新型コロナの感染症法上の位置付けが「5類」に引き下げられ、活動にも大きな前進が見られるところでもあります。

本協議会では、「コミュニティを中心とした支え合いのまち ひたち」の実現に向け、令和3年12月に、具体的な取組事項をまとめた「コミュニティ活動推進行動計画」を市と協働で策定し、「組織・活動の活性化・透明化」、「協働体制の強化」、「全世代の居場所づくり」を3つの柱として、全35項目の取組を進めることといたしました。

令和4年度は、本行動計画の初年度であることから、各取組事項に対して8つの推進会議を設置し、人材を循環させるためのガイドラインの作成や、取り組んでいる活動の再点検など、具体的な取組を進めたほか、全世代型のコミュニティ環境活動として、県北地域では初となる「スポGOMI大会 in 常陸多賀」の開催や、くさゼロの日になんだ環境美化活動など、様々な事業の実施により、行動計画の着実な推進を図ってまいりました。

令和5年度は、前年度の取組の評価・検証や、推進会議からの提案を基に、次のステップとなる取組に着手するとともに、行動計画の3つの柱を念頭に、各地域での、よりきめ細やかな対応が必要と考えます。

「自分の地域は自分の創意と努力でつくり上げる」というコミュニティ推進協議会の理念を改めて市民の皆さんと共有し、地域のつながりを維持しながら、誰もが「このまちに住んでよかった」、「住み続けたい」と実感できるまちにするために、全住民を対象として、地域の実情に応じた様々な事業に取り組んでまいります。

特に、重点取組に位置付けた取組については、市と緊密に連携しながら、コミュニティ全体で推進します。

◎重点取組

1 コミュニティ活動推進行動計画への取組

市とともに策定した「コミュニティ活動推進行動計画」の具体的な推進事項に対して積極的に取り組み、市民協働を更に推進します。

(1) 推進会議の提案を踏まえ、更なる取組を進める事業（8項目）

- ア 事務局長会議による人材発掘・育成に関する情報共有
- イ 専門部会議による活動内容の改善
- ウ コミュニティのよりどころの周知
- エ 「会計処理ハンドブック」の活用、研修会の開催
- オ (仮称)まちづくりコーディネーターの役割等の精査
- カ 「コミュニティ活動ハンドブック」の活用、広報部同士の情報交換
- キ 地域のつながりに対する支援策の検討、県宅地建物取引業協会との協定
- ク コミュニティ活動に対する謝礼をポイントで付与する仕組みの検討

(2) 脱炭素社会に向けた全世代型コミュニティ環境活動の充実

ア スポGOMI大会の開催（6/3）

イ くさゼロ・フォトコンテスト（9月）及びコミュニティくさゼロ写真展（10月）の開催

ウ 「ひたち・ごみゼロウイーク」及び「ひたち・くさゼロ大作戦」にちなんだ各単会の清掃活動等

2 共同事業等の実施

コミュニティ単会間の情報交換や意見交換を行い、共同事業を実施するとともに、市や各種団体等と連携・協力して、地域の様々な課題の解決に向けて取り組みます。

◎主な取組等

(1) 総会・役員会・会長会議（5、7、9、11、1、3月）

(2) 新任会長研修会の実施（7月）

(3) 日立市政に対する要望書の提出（10月）

(4) 会長研修会の実施（11月）

(5) 各種団体・委員会等との連携（県自治会連合会等）

(6) コミュニティのつどいの開催（2月）

(7) コミュニティ情報紙「こみこみ51、52号」の発行（9、3月）

(8) ホームページの充実（最新情報へ随時更新）

(9) FMひたちを活用したコミュニティ情報の発信（毎週月曜日）

(10) 日立の魅力再発見ウォークの実施（9月～11月）

(11) コミュニティプラン改訂支援事業

(12) 広報活動支援事業

(13) **【新】** コミュニティマップ改訂支援事業

・改訂に伴う印刷製本費、アドバイザー謝礼などに対する補助

・マップのサイズ等については全単会統一とし、完成後「ひたちコミュニティマップ」として装丁・箱詰めする。

(14) **【新】** デジタル支援員の派遣

・各交流センターへデジタル支援員が訪問し、デジタル機器の活用方法の提案や技術支援を行う。

以 上